



第11回 「看板づくりをしました」

まちづくり協議会の中で、福原北部地区の通学路の安全性についての課題が出てきました。

この課題に対し、子どもたちの手作りの看板を置くことで、大人に注意を促すことができるのではないか、また子どもたちにとっては、自分たちで看板を作ること、交通安全への意識がより高まるのではないかと、という意見があり、8月26日に協議会主催による「看板づくり」を開催しました。



ペンキで看板に色を塗る子どもたち

当日は、子ども会の協力もあり、約40人の子どもたちが参加。グループごとに「一旦停止」や「飛び出し注意」と下書きされた板にペンキで色を塗っていきました。



そうめん流しに大喜び

看板づくりが終わると、そうめん流しをしたり、かき氷を食べたり、水遊びをしたり、スイカ割りをしたりと、参加した大人も子どももおなかいっぱいになるまで楽しむことができました。

完成した看板は、協議会で置く場所を検討して、設置していく予定です。



園復興整備課 まちづくり推進室 ☎ 289-2930



復興のシンボルとして
新しい姿に

再建に向け解体作業を終え、更地となっていた敷地に、新総合体育館の新築工事が着工しました。

新しい体育館は、鉄筋コンクリート造2階建て延べ床面積8,680平方メートルで、

振り返る 復旧・復興

町総合体育館

町民の憩いの拠点 再建へ踏み出す



益城町総合体育館
完成イメージ図



旧体育館同様、2千人収容のメインアリーナ、サブアリーナ、武道場等を備えています。メインアリーナの天井は、震災の教訓から、板張りがなく耐震性に優れた「トラス構造」を採用しています。

震災により疲労した住民の心身の健康回復・維持と体力づくりの拠点の一つである総合体育館の早期完成を目指します。

☎ 287・4330

園生涯学習課スポーツ振興係